西海市農業委員会委員の推薦および応募状況（最終公表）　　令和5年3月20日現在

3．一般募集

No.	一般募集（応募者）									応募理由
	氏　名	性別	年齢	職業	経歴		農業経営の状況		認定農業者等として認定の有無	
					年月日	職名・役職等	営農類型	耕作面積（a）		
1	安藤　卓巳	男	68	会社員	1978年3月 1978年4月 2000年10月 2001年1月 2008年3月 2010年1月 2015年3月 2017年7月	福岡大学商学部商学科卒業 協栄生命保険㈱入社 協栄生命保険㈱経営破綻 ジブラルタ生命保険㈱入社 ジブラルタ生命保険㈱退職 日本年金機構入社 日本年金機構定年退職 ㈱JR西日本福岡入社 至現在	果樹	85a	無	2019年10月家内の実父逝去に伴い西海市雪浦幸物郷小麦で義父が生前栽培していた渋柿の幼木育成を継承、2025年を目途に事業化する計画を遂行中です。2023年3月渋柿畑の新3ヶ年計画を立案（別紙参照）、2023年4月福岡市より家内の里（西海市西彼町大串郷横浦）に移住を決定、渋柿栽培を本格的に取組むとともに経営安定化を図るため渋柿畑に隣接する12,115㎡山林、6,407㎡の耕作休眠地を整備活用、グリーンツーリズム事業として2023年9月より体験型農泊事業に参入、小・中学校の修学旅行生を対象に耕作休眠地の畑作地転用見学⇒小麦・大豆種まき、収穫体験⇒加工（パン・味噌・柿酢造り）⇒農と食の関係を就学旅行生が自ら栽培・収穫・加工・調理・飲食するまでの機会を提供⇒将来を担う青少年の農業への就労意欲醸成に貢献したい。農地等の利用の最適化推進のため自らの耕作耕作休眠地を整備・活用した新たな特産品（加工品）の研究や開発は、既存の地域事業所と連携・協同することで担当地域内に存在する耕作休眠地を再活用するための点から面への展開を促す起爆剤としたい。また、体験型農泊事業を活用（農業就労を希望する移住者向けに長期滞在型宿泊施設の安価な提供が行えるように行政・関係機関との調整）など従来には無かった施策やアイデアなどを自らの実践に基づき意見を述べさせていただくことができます。更に農地利用の最適化計画の策定にあたり農業経験に基づく識見が十分にあるとは言えないものの、農地利用再生への熱意と過去の経歴を活かしたユニークな企画力や対人調整力及び他県から移住して地域の農地利用を推進する実践者としての能力は十分に発揮することができ西海市の農業政策に貢献させていただきたい。
2	以下余白									
3										
4										
5										